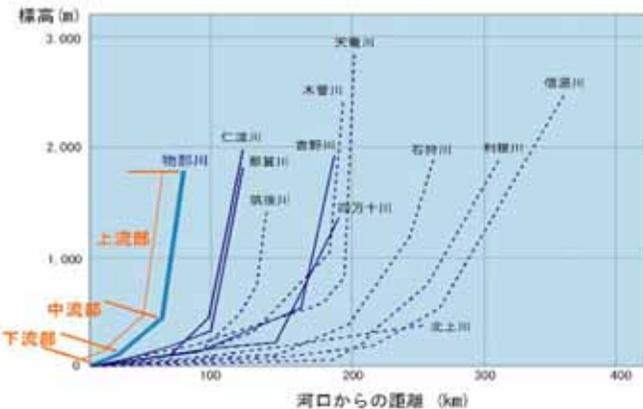
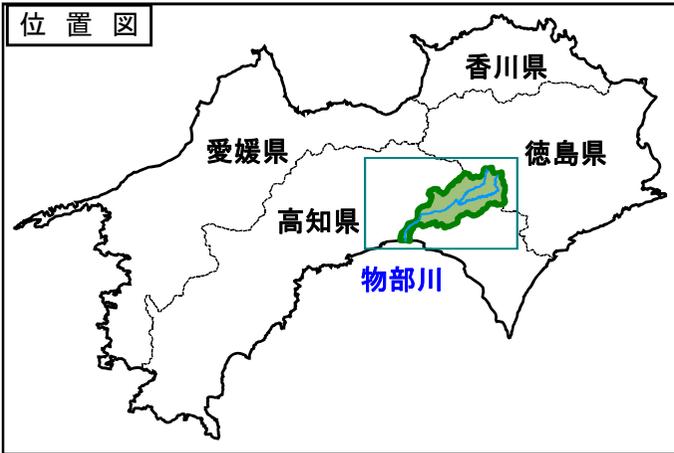


減災のための目標(案)について
【物部川】

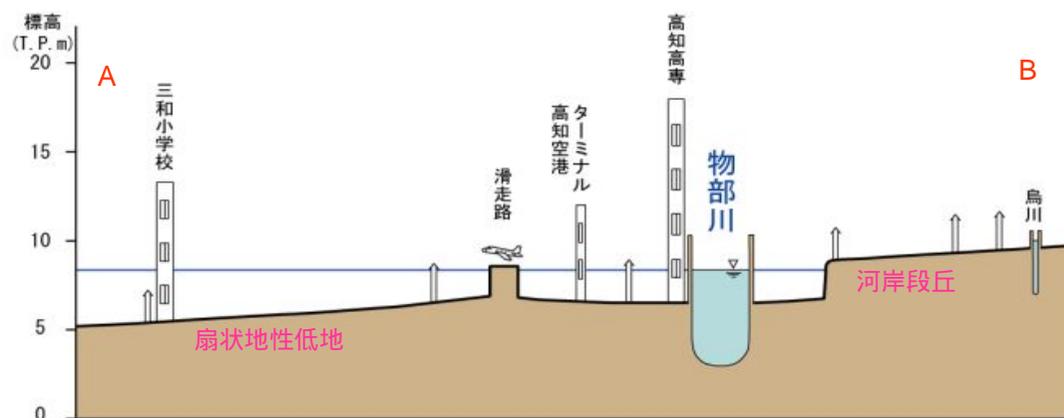
物部川の主な特徴



物部川の概要

項目	諸元	備考
幹川流路延長	71km	全国72位/109水系
流域面積	1,560km ²	全国88位/109水系
流域内市町村	3市	南国市、香南市、香美市
流域内人口	約3.9万人	
支川数	34本	

物部川の主な特徴



地形の特徴

物部川下流域の右岸側に形成された平野には、南国市や香美市などの市街地が存在。

河床勾配は下流部でも1/280と急流。

物部川下流域の右岸側の平野は扇状地性低地であり、堤内側の地盤高が物部川の計画高水位より低く、西に離れるにしたがって徐々に低くなる傾向にあり、潜在的に堤防の決壊による被害拡大の危険性を有する地形の特徴。

整備の特徴

上下流バランスを考慮しながら、物部川最大の狭窄部である下の村地区の引堤を早期完了する。

減災のための目標(案)

- 物部川下流域の右岸側の平野は扇状地性低地であり、堤内側の地盤高が物部川の計画高水位より低く、西に離れるにしたがって徐々に低くなる傾向にあり、潜在的に堤防の決壊による被害拡大の危険性を有する地形の特徴。
- 物部川では、上流部に狭窄部があり、下流部では流下断面が不足している箇所があるため、上下流バランスを考慮し、引堤や堤防拡幅、河道の掘削を実施している状況。
- 物部川下流域の右岸側に形成された平野には南国市や香美市など市街地が存在。
- 昭和45年等の洪水により、河岸侵食や低水護岸の崩壊や流失等が発生している。
- 物部川下流域の想定氾濫区域には、基幹交通、緊急輸送路である国道32号、国道55号や高知龍馬空港等の交通拠点となっており、災害復旧に対して早期の交通拠点機能の回復が必要となる。

逃げ遅れゼロ

物部川からの越流氾濫を考慮し、命を守る行動として水害から逃げる。

社会経済被害の最小化

既に起こった水害から迅速な排水活動を実施し、基幹交通である国道32号、国道55号や高知龍馬空港など交通拠点機能を早期に回復させ、早期に日常生活を取り戻す。



減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標(事務局案)

氾濫が拡散する扇状地性低地の地形の特徴を踏まえ、物部川で発生しうる大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」や「社会経済被害の最小化」を目指す。

扇状地性低地の特徴 : 扇状地末端の地形で勾配が緩やかであり、地盤高が計画高水位より低く、西に離れるにしたがって徐々に低くなる傾向にある。

大規模水害 : 想定最大規模の水害とする。

逃げ遅れゼロ : ハード対策、ソフト対策を実施することによって洪水に対して安全な場所へ逃げ切ることができる状態。

■目標達成に向けた3本柱の取組

河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の取組を実施。

- (1) 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
- (2) 洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
- (3) 社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化

目標達成に向けた主な取組内容(案)

今後、目標達成に向けた取組事項を協議するが、現時点で想定される主な取組内容を挙げることにする。

目標達成に向けた主な取組内容

主な取組内容	
(1) 避難のための取組内容	
情報伝達、避難計画等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラインの策定及び精度向上を行う。 ・広域避難計画の策定や避難所の再設定を行う。 ・広域避難を踏まえた避難勧告等の発令基準の見直しを行う。 ・氾濫が発生した場合に、浸水の対象となる地区名まで示した洪水予報文を発表する。
平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表を行う。 ・広域避難計画等を反映した洪水ハザードマップの改良・周知を行う。 ・首長も参加した出水時の対応を確認するセミナーを実施する。 ・洪水リスクが高い区間についての共同点検を河川事務所、地方公共団体等で実施する。 ・小中学生を対象とした水防災教育等を実施する。 ・ダム操作に関する地元関係者への周知を行う。 ・近傍の洪水ハザードマップや河川水位等の情報、災害リスク情報等の避難判断に必要な情報の入手方法を地域住民に周知する。 ・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの整備と周知を行う。 ・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料を作成する。
円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水位計・CCTVの整備を行う。 ・パソコンやスマートフォン向けにライブ画像や河川水位、レーダー雨量等の情報をリアルタイムに配信する。 ・住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を行う。 ・円滑かつ迅速な避難に資する施設整備（避難経路、防災無線等）を行う。

目標達成に向けた主な取組内容

(2) 水防活動等の取組内容

水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・重要水防箇所の見直しを行う。
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進する。
- ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施する。
- ・毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所の共同点検を行う。
- ・関係機関が連携した水防訓練を実施する。
- ・迅速な水防活動を支援するため、新技術を活用した水防資機材等の配備を行う。
- ・水防に関する広報の充実を図る。
- ・住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を行う。(再掲)

市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項

- ・要配慮者施設における避難計画策定の促進及び訓練の実施を行う。
- ・施設の関係者への情報伝達の充実を図る。
- ・洪水による浸水被害発生時の庁舎等の機能確保のための対策を行う。
- ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓蒙活動を行う。

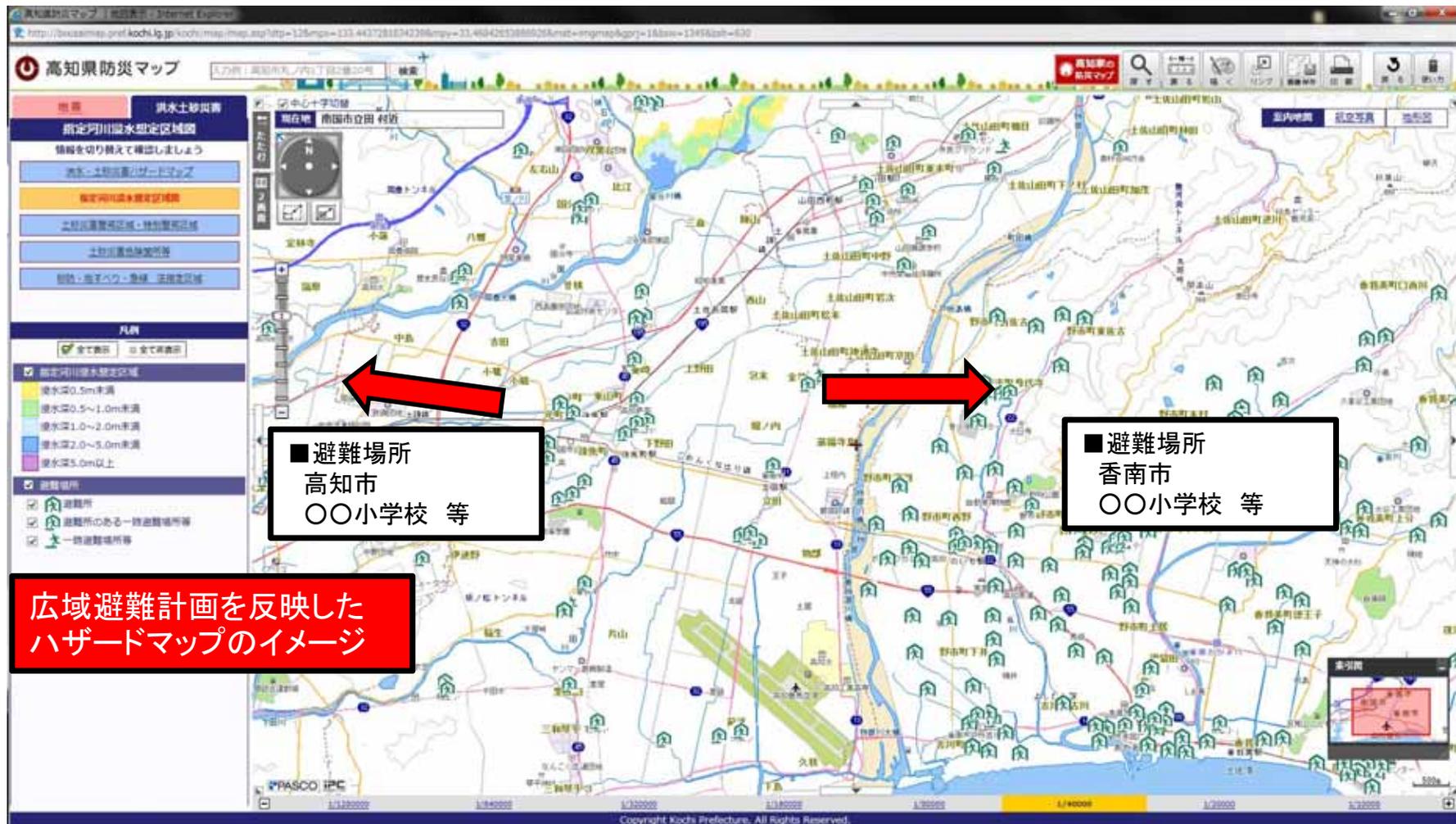
(3) 排水活動及び施設運用の取組内容

- ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づき関係機関と連携した排水訓練を実施する。
- ・ダム の 危機管理型の運用方法の検討を行う。

(1) 避難行動の取組内容

① 情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・広域避難計画の作成や避難所の再設定 など



(1) 避難行動の取組内容

③ 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

- ・パソコンやスマートフォンなどで、ライブ画像や河川水位、レーダー雨量等の情報をリアルタイムに配信 など



高知河川国道事務所ウェブサイトでの物部川の画像配信

スマートフォンでも
画像配信

(2) 水防活動等の取組内容

- ① 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
- ・関係機関が連携した水防訓練の実施 など



関係機関が連携した水防訓練の実施
(H27.6.28)



関係機関が連携した水防訓練の実施
(H27.6.28)

(3) 排水活動及び施設運用の取組内容

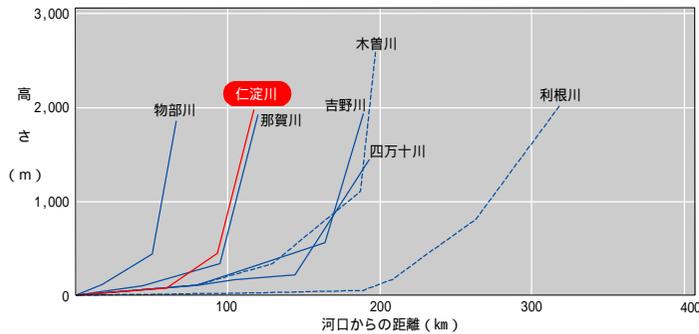
- ・関係機関と連携した排水訓練の実施 など



排水ポンプ車訓練を実施

減災のための目標(案)について
【仁淀川】

仁淀川の主な特徴

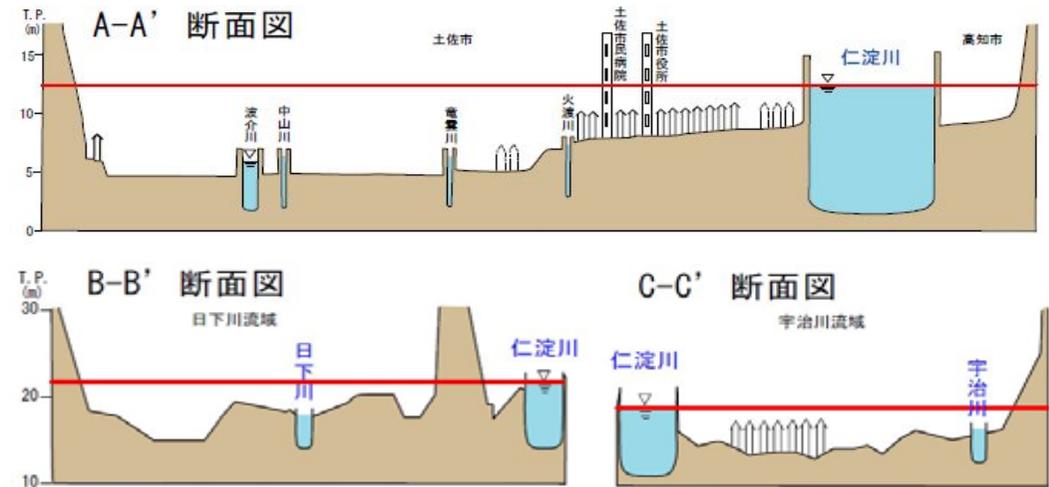


下流部の河床勾配は1/1000程度

仁淀川の概要

項目	諸元	備考
流路延長	124km	全国 35 位/109 水系
流域面積	1,560km ²	全国 44 位/109 水系
流域内市町村	3 市 6 町 1 村	高知県、愛媛県にまたがる
流域内人口	約 9.7 万人	
支川数	166 本	

仁淀川の主な特徴



地形の特徴

- 仁淀川下流域に主要な市街地が存在する。
- 仁淀川下流域で形成されている平野は、地盤高が仁淀川本川の計画高水位より低く、潜在的に堤防の決壊による被害拡大の危険性を有する。
- 支川沿いに形成された平野は地盤高が仁淀川本川の計画高水位より低く仁淀川から離れるほど地盤が低い低奥型地形となっており、仁淀川背水の影響を受けやすい。

整備の特徴

- ①上下流バランスを保ちながらの堤防整備
治水安全度の上下バランスに考慮しながら、八田堰上流の堤防未整備箇所での堤防の整備を実施するとともに八田堰下流の樹木伐採、河道掘削、波介川導流堤の断面幅の確保を実施していく。
- ②支川の内水対策
宇治川、日下川の内水対策として、排水ポンプ増設、新規放水路の建設等を行い床上浸水被害を解消させる。

減災のための目標(案)

- 仁淀川下流域で形成されている平野は地盤高が仁淀川本川の計画高水位より低く、潜在的に堤防の決壊による被害拡大の危険性を有する地形の特徴
- 仁淀川下流域の支川は、仁淀川から離れるほど地盤が低い低奥型地形となっており、仁淀川からの背水を受けやすい等の地形の特徴
- 仁淀川では、上流部に無堤地区があり、下流部では流下断面が不足している箇所があるため、上下流バランスを考慮し、堤防整備や河道の掘削を実施している状況。
- 仁淀川下流域の支川沿いに形成された平野には主要な市街地が存在。
- 昭和50年、平成26年には、波介川、宇治川、日下川などで内水による甚大な浸水被害をもたらした。
- 仁淀川下流域の想定氾濫区域には、基幹交通、緊急輸送路である国道33号、国道56号があり、災害復旧に対して早期の道路機能の回復が必要となる。
- 防災拠点となる市役所をはじめ消防署などがあり、防災機能を維持する等の取組が必要となる。

逃げ遅れゼロ

仁淀川からの越流氾濫や支川からの溢水氾濫を考慮し、命を守る行動として水害から逃げる。

社会経済被害の最小化

既に起こった水害から迅速な排水活動を実施し、基幹交通である国道33号、国道56号の道路機能を早期に回復させるとともに防災機能を維持する等の取組を行い、早期に日常生活を取り戻す。



減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標(事務局案)

堤内地の地盤高が低いことや低奥型地形の特徴を踏まえ、仁淀川で発生しうる大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」や「社会経済被害の最小化」を目指す。

低奥型地形の特徴 : 仁淀川下流域の支川が仁淀川から離れるほど地盤高が低い地形

大規模水害 : 想定最大規模の水害とする。

逃げ遅れゼロ : ハード対策、ソフト対策を実施することによって洪水に対して安全な場所へ逃げ切ることができる状態。

■目標達成に向けた3本柱の取組

河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の取組を実施。

(1) 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(2) 洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

(3) 社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化

目標達成に向けた主な取組内容(案)

今後、目標達成に向けた取組事項を協議するが、現時点で想定される主な取組内容を挙げることにする。

目標達成に向けた主な取組内容

主な取組内容

(1) 避難のための取組内容

情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・タイムラインの策定及び精度向上を行う。
- ・広域避難計画の策定や避難所の再設定を行う。
- ・広域避難を踏まえた避難勧告等の発令基準の見直しを行う。
- ・氾濫が発生した場合に、浸水の対象となる地区名まで示した洪水予報文を発表する。

平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・広域避難計画等を反映した洪水ハザードマップの改良・周知を行う。
- ・首長も参加した出水時の対応を確認するセミナーを実施する。
- ・洪水リスクが高い区間についての共同点検を河川事務所、地方公共団体等で実施する。
- ・小中学生を対象とした水防災教育等を実施する。
- ・ダム操作に関する地元関係者への周知を行う。
- ・近傍の洪水ハザードマップや河川水位等の情報、災害リスク情報等の避難判断に必要な情報の入手方法を地域住民に周知する。
- ・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの整備と周知を行う。
- ・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料を作成する。

円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

- ・水位計・CCTVの整備を行う。
- ・パソコンやスマートフォン向けにライブ画像や河川水位、レーダー雨量等の情報をリアルタイムに配信する。
- ・住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を行う。
- ・円滑かつ迅速な避難に資する施設整備（避難経路、防災無線等）を行う。

目標達成に向けた主な取組内容

(2) 水防活動等の取組内容

水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・重要水防箇所の見直しを行う。
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進する。
- ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施する。
- ・毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所の共同点検を行う。
- ・関係機関が連携した水防訓練を実施する。
- ・迅速な水防活動を支援するため、新技術を活用した水防資機材等の配備を行う。
- ・水防に関する広報の充実を図る。
- ・住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を行う。(再掲)

市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項

- ・要配慮者施設における避難計画策定の促進及び訓練の実施を行う。
- ・施設の関係者への情報伝達の充実を図る。
- ・洪水による浸水被害発生時の庁舎等の機能確保のための対策を行う。
- ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓蒙活動を行う。

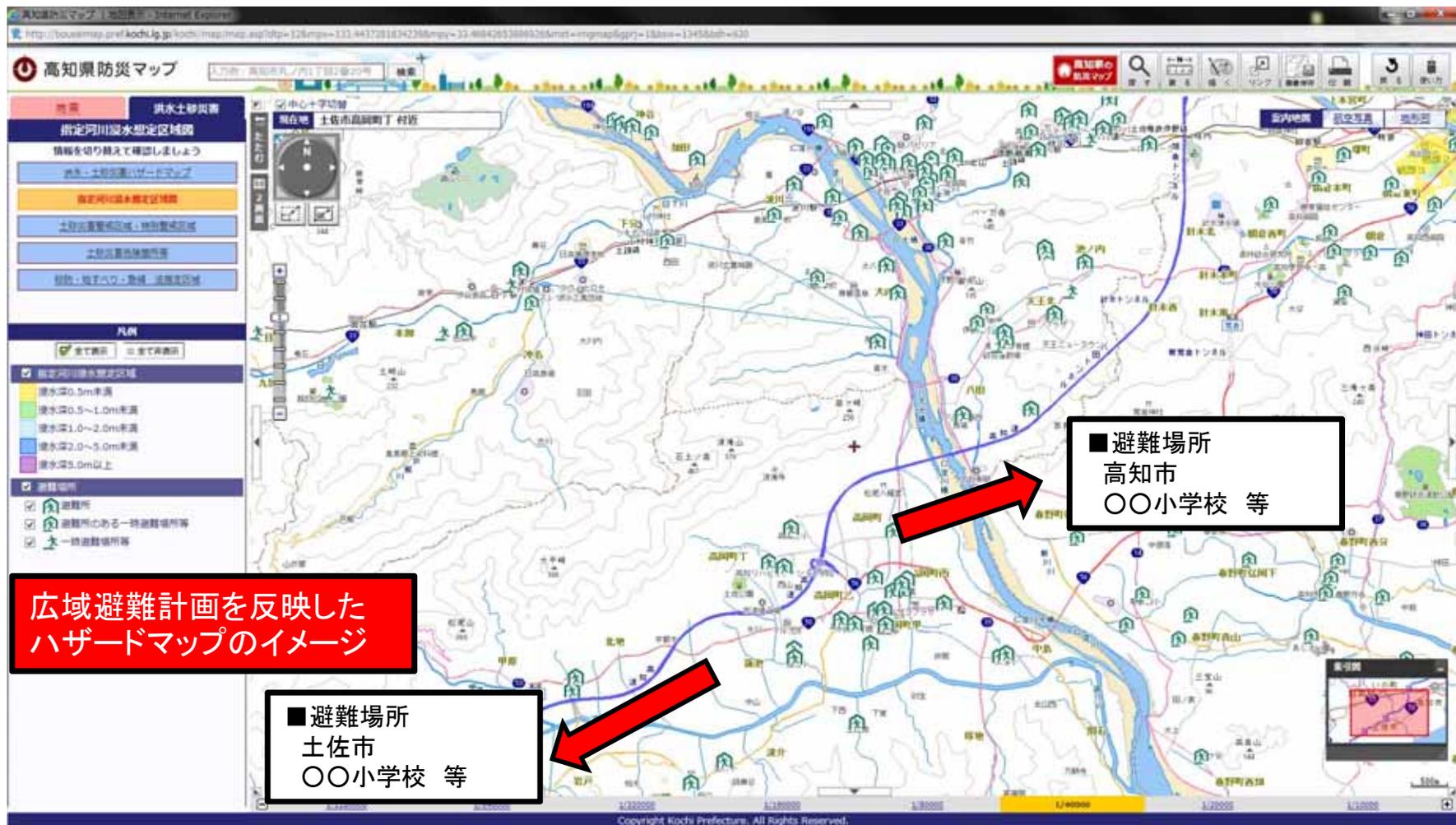
(3) 排水活動及び施設運用の取組内容

- ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づき関係機関と連携した排水訓練を実施する。
- ・ダム の 危機管理型の運用方法の検討を行う。

(1) 避難行動の取組内容

① 情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・広域避難計画の作成や避難所の再設定 など



(1) 避難行動の取組内容

③ 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

- ・パソコンやスマートフォンなどで、ライブ画像や河川水位、レーダー雨量等の情報をリアルタイムに配信 など



高知河川国道事務所ウェブサイトでの仁淀川の画像配信

スマートフォンでも
画像配信

(2) 水防活動等の取組内容

- ① 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
- ・関係機関が連携した水防訓練の実施 など



関係機関が連携した水防訓練の実施
(H27.6.28)



関係機関が連携した水防訓練の実施
(H27.6.28)

(3) 排水活動及び施設運用の取組内容

- ・関係機関と連携した排水訓練の実施 など



排水ポンプ車訓練を実施